

章安灌頂の研究

むらかみあきや
村上明也

〔著〕（駒澤大学専任講師）

A5判・上製函入・五七六頁・本体五、〇〇〇円＋税

2024年3月刊行

章安灌頂の研究

村上明也著

天台大師智顛の門人であり、嘉祥大師吉蔵とも交流を持った章安灌頂。彼が「天台三大部」の編集や「大般涅槃経疏」の執筆に込めた思いとは何だったのか。厳密な文献学に基づきながら、灌頂独自の教学の実態に迫る総合的研究。

序言

龍谷大学名誉教授 浅田正博

凡例

研究の視座とその方法

第一部

灌頂の行状と智顛「維摩経疏」の資料的価値をめぐる諸問題

はじめに

第一章 平井俊榮「吉蔵と智顛―経典註疏をめぐる諸問題―」の検証

第二章

平井俊榮『法華文句の成立に関する研究』第一篇第二章の検証

第三章

小野嶋祥雄「天台維摩疏」智顛親撰説への疑義―吉蔵撰述書との比較を通して―の検証

第二部

智顛の門人としての灌頂

第一章

『法華玄義』における行妙の形成

第二章

『摩訶止観』の成立下限年について―灌頂撰・湛然再治『大般涅槃経疏』を手掛かりとして―

第三章

灌頂における『摩訶止観』の本文整備―四種三昧、二十五方便、十境・十乘観法の連関

関係を中心に―

第四章 『摩訶止観』における六即大乘説の形成

第五章 智顛と灌頂の著作における『中論』三諦偈

第三部 南北朝・隋代の中国仏教と灌頂

第一章 法雲の十方相望説に対する天台と三論の反駁

第二章 灌頂の教学形成過程―法華涅槃同一醍醐味を中心に―

第三章 灌頂と『涅槃論』

第四章 灌頂が与えた後世への影響―智顛説・灌頂記『菩薩戒義疏』を中心に―

はじめに

第一章 『菩薩戒義疏』は智顛説・灌頂記の文献か

第二章 灌頂が『菩薩戒義疏』を撰述した可能性

第三章 『菩薩戒義疏』の成立について

結論

あとがき

初出一覧／参考文献一覧

索引

【著者略歴】

1982年生まれ。京都府出身。龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程修了（仏教学専攻）。現在、駒澤大学専任講師。博士（文学・龍谷大学）。著書に、『貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究―「別要」教理篇・上一―〔共著〕（楠淳澄・後藤康夫編、法藏館、2022年）、『源信撰『阿弥陀経略記』の訳注研究〔編著〕（法藏館、2020年）、『蔵俊撰『仏性論文集』の研究〔共著〕（楠淳澄・船田淳一編、法藏館、2019年）、他。

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教学 / 天台

注文書

（書店名）

ご担当

様冊

法藏館

村上明也著

五、〇〇〇円＋税

章安灌頂の研究

ISBN978-4-8318-7777-2 C3015

ご住所

お電話

お名前